



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行う**ため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「日本原子力学会シンポジウム」開催のお知らせです。

日本原子力学会シンポジウム開催のご案内
「東京電力福島第一原子力発電所事故後の環境回復の取り組み」
—住民被ばくの現状と環境動態—

日本原子力学会は、福島県と共同で「除染推進に向けた地域対話フォーラム」を開催し、福島県民の皆さまの放射能や除染に関する疑問にお答えする活動を行ってきました。また、「福島特別プロジェクト」を学会に設置し、除染活動支援のため「除染情報プラザ」への放射線や除染の専門家の派遣やシンポジウムの開催など、福島県に密着した活動を行っています。

また、震災後2年が経ち、住民の皆さまの要望もさまざまな分野にわたるものとなって来ており、学会としては、皆さま自身の価値判断をサポートできるような情報提供なども行っていきたいと考えています。

本シンポジウムは、住民の皆さまの被ばくの現状やさまざまな状況における環境への影響とその回復や長期予測などについてご講演いただき今後の取り組みについて議論をいたします。

日時:平成25年8月25日(日)13:00~17:15

場所:コラッセふくしま 多目的ホール(福島市) <http://www.corasse.com/category/access>

主催:日本原子力学会

共催:福島県

協力:除染情報プラザ

参加費:無料

プログラム:

- | | | |
|-------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 13:00~13:15 | 開会挨拶 | 田中 知(日本原子力学会福島特別プロジェクト代表) |
| 13:15~14:15 | 福島の内被ばくと外被ばくについて | 早野 龍五(東京大学大学院理学系研究科教授) |
| 14:15~15:00 | 営農再開に向けた農地除染、放射性物質移行低減対策技術開発の現状 | 中谷 誠 (農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官) |
| 15:00~15:15 | 休憩 | |
| 15:15~16:00 | 福島長期環境動態研究(F-TRACE)の現状 | 油井 三和(JAEA福島技術本部福島環境安全センター長代理) |
| 16:00~16:45 | 東京電力福島第一原子力発電所の建屋内の除染の進捗状況について(仮題) | 鈴木 俊一(東京電力株式会社)(予定) |
| 16:45~17:00 | 日本原子力学会の今後の取り組みについて | 日本原子力学会福島特別プロジェクト |
| 16:30~16:45 | 閉会挨拶 | |

本シンポジウムの取材申込みについて

8月22日(木)までに <http://www.aesj.or.jp/symposium/form.shtml> または Fax03-3581-6128にてお申し込みください。なお、取材希望が多い場合、1社の人数を制限させていただくことがあります。